

環境基本計画改定に係る市民意見の聴取について

1 概要及び考え方

計画の具体的内容である長期的目標や基本施策、環境配慮指針を策定するに当たり、本市が目指す環境像、「地球環境がくらしに豊かに調和する『環境共生と低炭素のまち・京都』」とはどのような姿であるのか、どのような姿であるべきか、ということについて市民の皆様の御意見をいただき、それらを活用することとする。

本市の環境保全に関する課題やニーズ等を把握するために実施（平成27年3月）した市民・事業者アンケートの調査結果については、第1回環境基本計画改定検討部会において資料として御提示しているが、この度、直接市民の皆様から御意見をいただくものとして、ワークショップを開催する。

本計画の計画期間は10年間であるが、さらに先の未来、概ね2050年を視野に入れた内容とするため、一般市民からの意見に加えて、未来を担う子どもたちからの意見を取り入れたい。

以上のことから、一般市民を対象としたワークショップと、小中学生を対象としたワークショップの二本立てで開催することとする。加えて、京エコロジーセンターにおいて募集用紙を配置し、夏休み期間中に随時意見を聴取することとする。

2 実施内容について

（1）計画への反映

本市が目指す環境像については、「はばたけ未来へ！京プラン（京都市基本計画）」において掲げた環境分野の未来像「地球環境がくらしに豊かに調和する『環境共生と低炭素のまち・京都』」となるが、その環境像は概念的なものとなっている。

一方で、行政・事業者・市民の協働により環境保全の取組を進めるうえでは、本市が目指す環境像について具体的なイメージを共有する必要がある。

こういったことから、計画策定の途中段階における市民意見聴取として、ワークショップを開催し、市民が思い描いている京都市の未来の環境の姿について御意見をいただくこととする。

いただいた御意見については、環境基本計画の中で、本市が目指す環境像について具体的なイメージを交えて分かりやすく説明するとともに、内容に応じて、他の部分（環境配慮指針など）においても活用したい。

（2）テーマ及び考え方

まずは、未来の京都の環境がどうあってほしいか、未来を担う子どもたちの意見を取り入れるため、小中学生を対象としたワークショップを開催し、「ぼくたち・わたしたちが夢見る京都の環境」をテーマに意見交換を行う。

その後、一般市民を対象に、「子どもたちが思い描いた京都の環境の実現に向けて」をテーマに、子どもたちが描いた環境を実現するためには、どのような暮らしが広がっていて、どのような社会であるべきか、そのためにはどういった行動をすべきか、といった観点から意見交換を行う。

以上の過程により、「地球環境がくらしに豊かに調和する」とはどのような姿であるのかを明らかにすることで、目指す環境像全体についての説明を行う。

(3) 実施内容（予定）

① 小中学生対象ワークショップ

日 程：8月22日（土） ①13：00～14：30 ②15：30～17：00

規 模：20組×2回（小学生は保護者同伴，中学生は単独参加）

テーマ：「ぼくたち・わたしたちが夢見る京都の環境」

場 所：京エコロジーセンター

② 一般市民対象ワークショップ

日 程：8月29日（土） 14：00～16：30

規 模：50人

テーマ：「子どもたちが思い描いた京都の環境の実現に向けて」

場 所：キャンパスプラザ京都

3 当日の進行等

(1) 概 要

参加者を6～8人程度（小中学生の場合は保護者と子ども3～4組）のグループに分け、グループごとに意見交換等を進めて意見発表会を行う。

京エコロジーセンターの協力を得て、メインファシリテーター1名を中心に進行するが、併せてサブファシリテーターを各テーブルに1名配置し、メンバーの積極的な発言を促す。

保護者については、あくまでも子どもの意見発言のサポート役の役割とする。

※ 一般市民対象のワークショップについては、メインファシリテーター1名が進行を行い、各テーブルの進行は参加者で行う。そのほか、1～2名が各テーブルを回り、サポートを行う。

(2) 進行イメージ

小中学生対象ワークショップ（90分）	一般市民対象ワークショップ（150分）
①進行説明，挨拶（5分） ②自己紹介等（10分） ③導入（10分） ・京都市の環境の状況を知ってもらう ④グループワーク（40分） ＜4組（8人）1グループ＞ ○「夢見る京都の環境」について ・思いつくキーワード，イメージを付箋に記入 ・付箋の内容を各個人が説明したうえで意見交換 ・グループの意見のとりまとめ	①進行説明，挨拶（5分） ②自己紹介等（10分） ③導入（15分） ・京都市の環境の状況や環境基本計画について説明 ・「子どもたちが思い描いた京都の環境」を紹介 ④グループワーク（80分，休憩10分） ＜6～8人1グループ＞ ○「子どもたちに残したい京都の環境」について ・思いつくキーワード，イメージを付箋に記入 ・付箋の内容を各個人が説明したうえで意見交換 ○その環境を残していくために，私たちのくらしはどうあるべきか ・思いつく内容を付箋に記入 ・付箋の内容を各個人が説明したうえで意見交換 ・グループの意見のとりまとめ

小中学生対象ワークショップ（９０分）	一般市民対象ワークショップ（１５０分）
⑤各グループからの発表（２０分） ３分程度×５グループ	⑤各グループからの発表（２５分） ３分程度×７グループ
⑥まとめ（５分）	⑥まとめ（５分）
【９０分】	【１５０分】

（３）参加者へのインセンティブについて

- ① 小中学生対象ワークショップ
京都市バス・地下鉄オリジナルお箸セット
- ② 一般市民対象ワークショップ
地下鉄１日乗車券

４ 周知方法

- （１）広報発表（７月１６日）、市民しんぶん（８月１日号）への掲載
- （２）周知ビラについて、市役所及び区役所・支所、図書館、文化施設、子どもたちが集まる施設（京エコロジーセンター、青少年科学センター等）を中心に配架するほか、小中学校、関係団体へ周知
- （３）京エコロジーセンター等のイベントを中心に周知ビラを配布

５ 備 考

夏休み期間中に京エコロジーセンター内に意見募集用紙を配置し、ワークショップと同じテーマで、意見募集を行う。

京エコロジーセンターの来館者に対してエコメイトから誘導してもらうなどにより、多く意見を聴取できるよう努める（年齢層に関係なく意見をいただくこととするが、記入用紙を小中学生とそれ以外で分けるなどの工夫をして、子どもと大人の意見を分ける。）。